

緑遊〈植栽ブロック〉

●特長

1. ブロック本体に充填された栗石や砕石で形成させる空隙は、草木の繁茂や虫たちの生活の場を提供します。
2. 通常、護岸として用いられる積ブロックの使用数は7~10個/m²、本ブロックは2個/m²使いであるため、施工の省力化が図れ工期を大幅に短縮できます。
3. ブロックの控長は50cm、75cmで、壁体質量も胴込め材量を含め約950kg/m²、組積みされたブロックの上下面は凹凸によるかみ合わせと胴込め材料によるせり持とで滑り出しを防止し、土圧に対し十分な安全性があります。
4. ブロックの表面は適度の陰影と石積護岸イメージを与え、周辺の景観に溶け込みます。



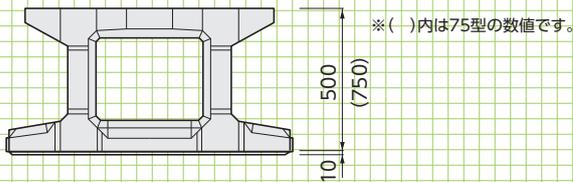
■用途

河川などの護岸工。道路などの土留擁壁工。治山などの土留山腹工。
宅地造成などの土留擁壁工。風致地区などの景観保全工

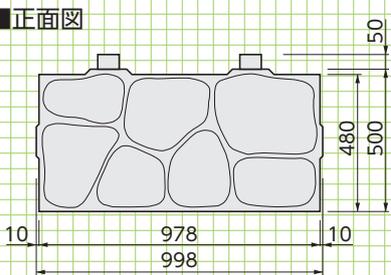
基本形状図 A形

形状・寸法
重量

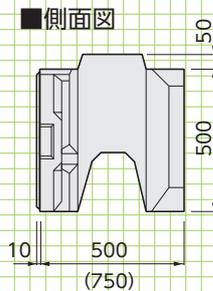
■平面図



■正面図



■側面図

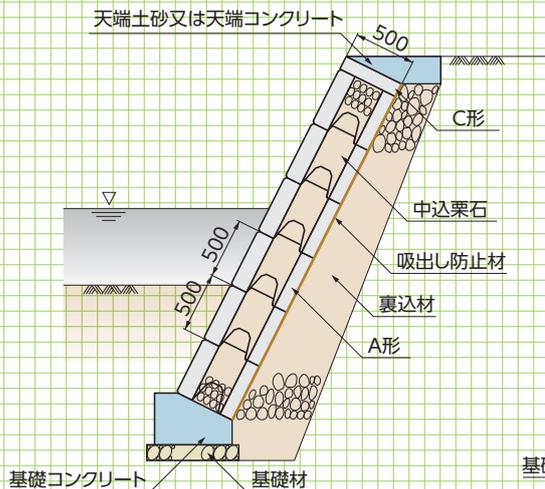


■寸法・重量表

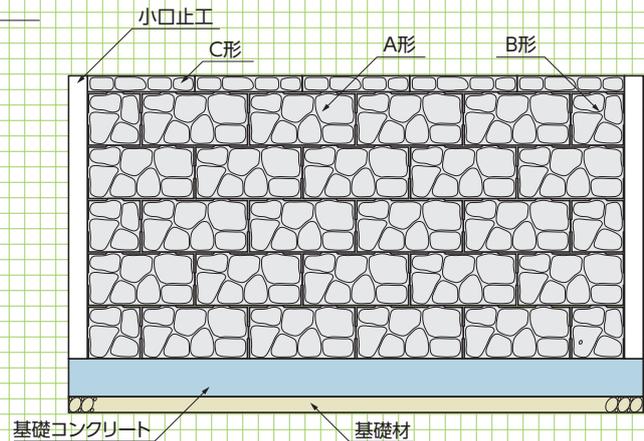
呼称	主要部寸法 (mm)	体積 (m ³ /個)	参考重量 (kg/個)
	高さ×幅×控え長		
A形	50型 500×998×500	0.0957	220
	75型 500×998×750	0.1314	302
B形	50型 500×498×500	0.0487	112
	75型 500×498×750	0.0692	159
C形	50型 150×998×500	0.0718	165
	75型 150×998×750	0.1092	251
D形	50型 150×498×500	0.0357	82
	75型 150×498×750	0.0544	125

標準断面図

■標準施工断面図



■標準展開図



緑遊II (植栽ブロック)

●特長

1. 緑遊IIは、ブロックを水平に設置するだけで5分勾配の擁壁を構築することが出来ます。そのため、従来のブロックと比較して施工性に優れ、また、5分勾配で自立するため、作業時の安全性に優れています。
2. ブロックの控長は50cmで、壁体質量も胴込め材量を含め約870kg/m²、組積みされたブロックの上下面は凹凸によるかみ合わせと胴込め材料によるせり持とで滑り出しを防止し、土圧に対し十分な安全性があります。



■用途

河川などの護岸工。道路などの土留擁壁工。治山などの土留山腹工。
宅地造成などの土留擁壁工。風致地区などの景観保全工

